



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社京都きもの友禅ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7615 URL <https://www.kyotokimonoyuzenholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅香 竜也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 渡部 真由 (TEL) 03-3639-9191
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,563	30.9	106	—	104	—	97	—
2025年3月期第1四半期	1,194	△32.8	△316	—	△319	—	△322	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 97百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △322百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.92	—
2025年3月期第1四半期	△28.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	7,025	2,076	29.6	147.82
2025年3月期	7,276	1,979	27.2	140.90

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,076百万円 2025年3月期 1,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,909	14.5	66	—	50	—	34	—	2.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	15,298,200株	2025年3月期	15,298,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,250,936株	2025年3月期	1,250,886株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	14,047,290株	2025年3月期1Q	11,256,618株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式(2026年3月期1Q335,800株、2025年3月期335,800株)が含まれております。また、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式(2026年3月期1Q335,800株、2025年3月期1Q335,800株)を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復傾向が続きました。一方で、海外景気の下振れや、米国の今後の政策動向、金融資本市場の変動等、引き続き状況を注視していく必要があります。

このような環境の中、当社グループでは「黒字化の実現」を最優先の経営課題と位置付け、全社をあげて経営体制の改善に取り組んでまいりました。前期に策定した重点施策を軸に、施策の実行と検証を繰り返しながらP D C Aサイクルを継続的に回し、収益構造の改革を全社一丸となって着実に推進しています。

売上面では、前期より進めてきた各種プロジェクトの効果が今期より本格的に発現し、安定した受注活動につながっております。和装事業全体として、販売プロセスの改革と営業施策の転換が功を奏し、継続した営業基盤が着実に築かれつつあり、当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同期比30.9%増の1,563百万円となりました。

利益面では、原価率の見直しにより原価の適正化が進んでおり、当第1四半期連結累計期間の粗利益率は前年同期と比較して2.0ポイント上昇し60.4%となりました。また、継続して進めてきた不採算店舗の閉店統合や広告・販促費の見直し、間接コストの最適化など、一連のコスト構造改革の効果が今期に入り確実に発現しており、収益改善へと直結しております。これらの結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は106百万円（前年同期は営業損失316百万円）、経常利益は104百万円（同経常損失319百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は97百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失322百万円）となり、6期ぶりとなる第1四半期での黒字を達成することができました。

今回の収益改善は、営業・管理両部門が一体となり、前期より推進してきた構造改革と販売改革の成果が着実に表れた結果であり、2026年3月期を「実行と成長の年」と位置づける当社にとって、確かな回復と次なる成長への足掛かりを示す重要な四半期となりました。

「和装事業」における売上区分別の状況は次のとおりです。

(一般呉服等)

既存顧客を対象とした「一般呉服」等については、既存顧客への接点強化や収益管理、新規顧客獲得施策の積み重ねが着実に成果を見せております。前期中に実施した店舗網の見直しにより一部店舗の閉店を実施した結果、受注高は前年同期比1.0%減となりましたが、計画対比では順調に推移しております。

(振袖)

「振袖」販売及びレンタルについては、重点施策として前期より推進してきたデジタル広告施策への転換の成果が期初より現れており、来店客数は前年同期比、及び計画対比でも大きく伸ばいたしました。また、店舗営業施策を連動させた新戦略が稼働を開始し、従来にない販路が拡大しています。その結果、振袖に関する受注高は前年同期比20.6%増となりました。

(写真撮影・オンラインストア)

「写真撮影」関係については、「写真スタジオクラネ」を和装店舗に併設する運営に転換しており、和装店舗との更なる連携強化を進めております。店舗運営見直しによる一部閉店の影響を受け、売上高は前年同期比6.9%減となりましたが、商品ラインナップ見直しによる商品単価の上昇、撮影プランの充実化による顧客の撮影機会の拡充、外部コスト見直しによる経費削減等を進めており、利益率は前年同期比で上昇しております。

「オンラインストア」については、SEO対策の強化により自社サイトへのアクセス数が増加し、振袖販売及びレンタルの売上が好調に推移いたしました。また、市場の需要動向やシーズンに応じた商品ラインナップの拡充により、振袖以外の和装商品売上についても順調に推移し、全体としての売上高は前年同期比23.2%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、5,055百万円となりました。これは、主に商品及び製品が149百万円、売掛金が70百万円、前払費用が37百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、1,969百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、7,025百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、4,604百万円となりました。これは、主に買掛金が51百万円、契約負債が42百万円それぞれ増加し、前受金が84百万円、資産除去債務が91百万円、預り金が65百万円それぞれ減少したこと、また、借入金の返済に伴う短期借入金の減少が188百万円あったことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、344百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、4,948百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、2,076百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が97百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2025年5月13日に発表した業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2024年3月期末において和装店舗運営事業における売上高の大幅な減少が継続し、多額の損失を計上したことから、金融機関からの借入金に係る財務制限条項に抵触いたしました。このことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。しかしながら、当社グループは、2025年3月期に策定した重点施策を継続して推進していくことにより、2026年3月期の業績回復を目指すとともに、資金面においても、当第1四半期連結会計期間末における資金残高の状況及び中長期的な資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念点がないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,668,196	1,683,196
売掛金	2,038,418	1,967,604
商品及び製品	1,057,719	908,268
原材料及び貯蔵品	26,922	23,862
前払費用	422,490	384,639
その他	91,255	88,040
流動資産合計	5,305,001	5,055,612
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6	3,438
有形固定資産合計	6	3,438
無形固定資産		
	0	1,980
投資その他の資産		
差入保証金	1,355,250	1,355,250
敷金及び保証金	612,964	605,924
その他	3,438	2,980
投資その他の資産合計	1,971,653	1,964,154
固定資産合計	1,971,659	1,969,573
資産合計	7,276,661	7,025,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,780	161,220
短期借入金	580,530	391,945
リース債務	16,355	11,834
未払法人税等	15,983	3,829
前受金	1,199,501	1,115,145
預り金	2,187,326	2,121,947
賞与引当金	26,360	10,395
前受収益	310,232	288,948
資産除去債務	91,599	—
契約負債	168,121	210,419
その他	262,443	288,886
流動負債合計	4,968,233	4,604,571
固定負債		
リース債務	9,873	8,406
株式給付引当金	1,554	1,554
資産除去債務	317,689	334,184
固定負債合計	329,116	344,145
負債合計	5,297,350	4,948,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	196,013	196,013
資本剰余金	560,305	560,305
利益剰余金	1,953,927	2,051,091
自己株式	△730,935	△730,941
株主資本合計	1,979,310	2,076,469
純資産合計	1,979,310	2,076,469
負債純資産合計	7,276,661	7,025,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	1,194,761	1,563,410
売上原価	497,512	619,131
売上総利益	697,249	944,279
販売費及び一般管理費	1,013,291	837,953
営業利益又は営業損失(△)	△316,042	106,326
営業外収益		
受取利息	63	12
受取遅延損害金	57	182
受取弁済金	18	181
雑収入	728	207
営業外収益合計	868	583
営業外費用		
支払利息	4,378	2,295
雑損失	11	352
営業外費用合計	4,389	2,648
経常利益又は経常損失(△)	△319,563	104,261
特別損失		
賃貸借契約解約損	—	4,232
特別損失合計	—	4,232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△319,563	100,028
法人税、住民税及び事業税	2,933	2,864
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,933	2,864
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322,497	97,164
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△322,497	97,164

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322,497	97,164
四半期包括利益	△322,497	97,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△322,497	97,164
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、和装事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	100千円	110千円